

小布施まちづくり大学

学長：川向正人氏

(東京理科大学教授、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所長)



祇園御霊会を見る町家の棧敷

最初の日本の都市は694年の藤原京と考えられている。その一方で、古代から「町」という言葉があり、この解釈こそが日本の都市の源流を探る大きなテーマとなる。その後、中世から近世にかけては「町」と呼ばれる都市的な場が日本列島のあちこちに登場し、とくに戦国期には市町、宿町、寺内町、門前町、そして城下町の前身となる戦国期城下町など多様な都市が誕生する。そして近世以降は日本

固有の都市類型である城下町が全国の主要拠点として成立するが、在郷にも数多くの市町や宿町が分布した。小布施もこうした日本の独自の都市史のなかで生まれた個性的な場である。本講義では日本の都市史の流れ、すなわち「まち」の歴史的推移を追跡しながら、その特質をオランダやフランス、イタリアなど近年の調査結果を踏まえながら比較して論じたい。

平成23年度 第3回講義

日本の「まち」とは何か～歴史から読み解く

招待講師：伊藤 毅 氏 (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授)

伊藤 毅 (いとう たけし) 氏 プロフィール

東京大学大学院工学系研究科教授。日本建築史・都市史を研究しており、とくに中世から移行期の都市史が専門。近年はフランスの中世都市バステードやオランダ・フリースラントの諸都市、フランス南西部のミディ運河沿い、イタリア・ヴェネト地方の内陸運河沿いの「テリトリオ(領域)」分析、佐渡金銀山や東京葛飾区の文化的景観研究などのフィールド調査に研究室の総力をあげて取り組んでいる。

日時：平成23年11月7日(月)

18:00～20:00

場所：小布施町役場3階・講堂
聴講無料・要予約

予約・問い合わせ先

小布施町役場地域整備グループ

住所 〒381-0297 長野県上高井郡小布施町大字小布施1491-2

TEL 026-247-3111 FAX 026-247-3113

E-Mail machidukuri@town.obuse.nagano.jp

後援：長野県建築士会、信濃毎日新聞社、須坂新聞社、北信ローカル